



名古屋市新事業支援センター

令和8年6月2日

IT担当マネージャの宿澤です。

名古屋市新事業支援センターに、着物リメイク、リメイク服や和雑貨の製作・販売を行う「志月」代表の三野昌江さんが来所されました。三野さんは、箆笥に眠っている大切な着物や帯を、今の暮らしの中で身につけ、使い続けられるリメイク服や和雑貨へと生まれ変わらせています。

「深く思いが詰まった着物や帯だからこそ大切に、箆笥に眠らせておくのではなく、今に合った形に変えて時代を繋ぐお手伝いをします。あなたのライフスタイルの中に特別な一点を。」

そんな想いを大切に、三野さんはお客様一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、「和」をもっと身近に楽しめる提案を続けておられます。

■志月さんの魅力・特徴

1. 思い出の着物や帯を、これからも使える形へ

ご家族から受け継いだ着物や、思い出の詰まった帯は、簡単には手放せないものです。志月さんは、そうしたお客様の気持ちを受け止め、洋服やバッグ、身近な小物など、日常の中で再び楽しめる形へと丁寧に仕立て直しておられます。

2. 着物を特別な日のものだけでなく、普段の装いへ

「着物は素敵だけれど、着る機会が少ない」と感じる方にも、志月さんの商品は和の美しさを自然に取り入れるきっかけになります。着物地の付け襟や帯を使った小物、ストールなど、洋服にも合わせやすく、毎日の装いにさりげない華やかさを添えてくれます。

3. パタンナーとして培った確かな技術による、着やすく美しいリメイク服

三野さんは、アパレル業界で13年間パタンナーとして洋服づくりに携わってこられました。着物の柄や素材の魅力を活かしながら、現代の暮らしに合う着心地やシルエットへと仕立てる技術が、志月さんならではの大きな強みです。

4. 手仕事と伝統工芸が生む、世界に一つの特別な一点

着物や帯のリメイクに加え、京都で長年伝統工芸に携わってきた職人による手描き友禅のストールやスカーフなども提案されています。一点一点に異なる表情があり、ご自身へのご褒美としても、大切な方への贈り物としても、心に残る商品となっています。

5. 生成AIも活用し、リメイク後の“楽しみ”を見える形に

大切な着物をリメイクしたいと思っても、「どのような服になるのだろう」「自分が着たらどんな雰囲気になるのだろう」と迷われるお客様もいらっしゃいます。三野さんは生成AIを上手に活用し、リメイク後や試着時のイメージを膨らませる提案にも取り組んでおられます。完成後の姿を思い描きやすくなることで、お客様にも大変好評とのことでした。

着物や帯に込められた思いを大切にしながら、今の暮らしに寄り添う新しい形へとつないでいく三野さん。

伝統を守るだけでなく、現代の感性や新しい技術も取り入れながら、お客様の「大切なものを、これからも身近に感じていたい」という思いに応えておられます。

三野さんのますますのご活躍が楽しみです。

ホームページ：<https://shizuki-wa.com/>

Instagram：<https://www.instagram.com/shizukiseikatsu/>

